



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月12日

上場会社名 東邦亜鉛株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5707 URL <http://www.toho-zinc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸崎公康
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 田邊正樹 TEL 03-6212-1716
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	73,855	△1.2	3,040	—	3,417	—	1,153	—
2020年3月期第3四半期	74,747	△17.2	△6,831	—	△6,282	—	△10,976	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △1,363百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 △12,979百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	84.94	—
2020年3月期第3四半期	△808.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	120,862	34,945	28.9
2020年3月期	117,333	36,309	30.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 34,945百万円 2020年3月期 36,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	2.6	4,500	—	4,500	—	3,500	—	257.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー 社 （社名） 、 除外 ー 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	13,585,521株	2020年3月期	13,585,521株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	7,346株	2020年3月期	7,162株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	13,578,240株	2020年3月期3Q	13,578,421株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 6「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2021年2月12日（金）に機関投資家、証券アナリスト向け説明会をオンラインで開催する予定です。この説明会で使用する資料につきましては、決算発表と同時にTDnet及び当社ホームページで開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
3. その他	13
連結売上高明細表	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の連結業績は以下の通りです。売上高は前年同期比減収ですが、営業利益・経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益ともに増益となりました。

(単位：百万円)

	2019年12月期	2020年12月期	増減 (増減率%)
売上高	74,747	73,855	△891 (△1)
営業利益又は損失 (△)	△6,831	3,040	9,872 (－)
経常利益又は損失 (△)	△6,282	3,417	9,700 (－)
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は純損失 (△)	△10,976	1,153	12,129 (－)

《経営環境》

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く事業環境は以下の通りです。

当社の主力製品である亜鉛や鉛の金属相場は、前年度末の新型コロナウイルス感染症の影響（以下、「コロナ影響」）による急落から一転して、最大消費国である中国が経済活動を早期に再開したこともあり、回復基調となりました。銀についても、金相場に追随する形で上昇しました。

一方為替相場は、製錬事業に影響を与える米ドル/円相場につきましては緩やかに円高が進行し、期中平均でも前年同期比円高となりました（円高は資源事業の業績にマイナスの影響）。豪州に鉱山会社（CBH Resources Ltd.（以下、「CBH社」という。））を有する当社グループに影響を与える米ドル/豪ドル相場につきましては、金属価格の上昇に伴い資源国通貨である豪ドルが強くなりましたが、期中平均では前年同期比豪ドル安となりました（豪ドル安は資源事業の業績にプラスの影響）。

販売面では、コロナ影響による国内需要の落ち込みを、輸出取引の拡大により対処いたしました。

《売上高》

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、コロナ影響やCBH社エンデバー鉱山の休山などもあったものの、金属相場の上昇もあり、連結売上高は前年並みとなりました。

《利益》

損益面では、前年同期の在庫評価損が当四半期では在庫評価益に転じたこと、買鉱条件の改善や金の増販などもあり、製錬事業で営業利益が前年同期比97億円の増益となりました。加えて資源事業でも営業損失が前年同期比3億円縮小したこともあり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前年同期比で増益かつ黒字に転じました。

セグメントの業績は次のとおりであります（以下、各セグメントの売上高には、セグメント間売上高を含みません）。

① 製錬事業部門

(単位：百万円)

	2019年12月期	2020年12月期	増減 (増減率%)	
売上高	55,989	60,142	4,152	(7)
営業利益又は損失 (△)	△5,933	3,771	9,704	(-)

《亜鉛》

LME相場は、当期は期を通じて上昇基調、前期は下落基調だったものの、期中平均では前年同期比で相場安となりました。販売面でも、国内の落ち込みを完全には輸出でカバー出来ず、前年同期比減販となったこともあり、売上高は前年同期比12%の減収となりました。

《鉛》

亜鉛同様に、期中平均では前年同期比で相場安となりました。さらに販売面でも前年並みにとどまったこともあり、売上高は前年同期比10%の減収となりました。

《銀》

ロンドン銀相場は、世界的な金融緩和政策等を受けて大きく上昇しました。加えて増販も寄与し、売上高は前年同期比44%の増収となりました。

以上のほか、硫酸などその他の製品を合わせた当事業部門の業績は、前年同期比での亜鉛・鉛相場安はあったものの、銀相場高及び増販もあり、前年同期比増収となりました。一方、営業利益は在庫評価益の計上（前年同期は在庫評価損を計上）や金・銀の増販、非鉄スラグ処理費用の減少などもあり、前年同期比で97億円の大幅増益かつ黒字転換となりました。

なお、金属相場（月平均）及び為替相場（月平均）の推移は下表のとおりであります。

区 分	亜鉛		鉛		銀		為替レート	
	LME相場	国内価格	LME相場	国内価格	ロンドン 相 場	国内価格	円/米ドル	米ドル/ 豪ドル
	\$/t	¥/t	\$/t	¥/t	\$/toz	¥/kg	¥/\$	US\$/A\$
2018年3月	3,280	394,400	2,397	316,000	16.5	57,650	106.07	0.7768
6月	3,092	389,000	2,441	333,000	16.5	59,870	110.03	0.7494
9月	2,433	320,500	2,028	292,000	14.3	52,700	111.91	0.7197
12月	2,626	345,100	1,965	286,000	14.7	54,320	112.51	0.7187
2019年3月	2,851	365,800	2,055	294,900	15.3	56,120	111.24	0.7076
6月	2,602	332,500	1,892	267,800	15.0	53,520	108.12	0.6945
9月	2,320	299,400	2,071	284,200	18.2	64,430	107.45	0.6800
12月	2,274	299,800	1,899	272,200	17.1	61,350	109.24	0.6872
2020年3月	1,906	259,400	1,745	249,200	14.9	54,000	107.41	0.6235
6月	2,021	272,200	1,740	248,700	17.7	62,700	107.55	0.6888
9月	2,451	311,200	1,881	265,500	25.9	89,940	105.76	0.7231
12月	2,782	342,800	2,019	275,000	24.9	83,925	103.84	0.7513

② 資源事業部門

(単位：百万円)

	2019年12月期	2020年12月期	増減 (増減率%)
売上高	10,166	6,535	△3,631 (△36)
営業損失 (△)	△2,119	△1,809	309 (－)

前年同期（1月－9月）比での金属相場安や、CBH社エンデバー鉱山の休止などもあり、売上高は前年同期比減収となりました。一方損益面では、CBH社ラスプ鉱山が前年同期比で減産かつ粗鉱品位低下により精鉱生産量が減少したものの、エンデバー鉱山の休山前コストが当期は消滅したことや、決算期ズレの調整効果もあり、前年同期比で損失が縮小しました。

③ 電子部材事業部門

(単位：百万円)

	2019年12月期	2020年12月期	増減 (増減率%)
売上高	3,800	3,013	△786 (△21)
営業利益	353	189	△163 (△46)

前年同期比では、各事業部とも、コロナ影響により減収となりました。

《電子部品》

堅調な産業機器向けに加え車載電装向けが回復したものの、その他の分野は販売が回復せず、売上高は前年同期比10%の減収となりました。

《電解鉄》

コロナ影響を受けた航空機用特殊鋼向けの販売量が大幅に落ち込み、売上高は前年同期比32%の減収となりました。

《プレーティング》

産業機器向けの金メッキは回復したものの、その他の分野は販売が回復せず、売上高は前年同期比22%の減収となりました。

《機器部品》

コロナ影響もあり、粉末冶金部門は自動車関連製品が低調に推移し、また、タイヤ用バランスウェイト部門も自動車ライン向けの減少が大きく、売上高は前年同期比26%の減収となりました。

以上の結果、当事業部門の業績は、前年同期比で減収減益となりました。

④ 環境・リサイクル事業部門

(単位：百万円)

	2019年12月期	2020年12月期	増減 (増減率%)
売上高	3,206	2,539	△666 (△21)
営業利益	653	592	△61 (△9)

主力製品の酸化亜鉛は、コロナ影響による自動車生産台数の減少もあり前年同期比減収、加えて亜鉛の国内価格が前年同期比で安かったこともあり減収となりました。使用済みニカド電池の処理や硫酸リサイクルなどその他のリサイクル事業についても前年同期比減収となり、当事業部門の業績は、前年同期比で減収減益となりました。

⑤ 土木・建築・プラントエンジニアリング事業部門

(単位：百万円)

	2019年12月期	2020年12月期	増減 (増減率%)	
売上高	1,716	1,246	△469	(△27)
営業利益	51	117	66	(129)

当期はコロナ影響から、営業活動が制限され受注が減少したことや一部の建設工事の遅延もあり、前年同期比27%の減収となりました。しかしながら、当期は前期にあったプラントエンジニアリング事業での不採算の案件が無くなったことなどもあり、前年同期比で増益となりました。

⑥ その他事業部門

(単位：百万円)

	2019年12月期	2020年12月期	増減 (増減率%)	
売上高	5,169	5,419	250	(5)
営業利益	374	409	35	(9)

《防音建材（商品名：ソフトカーム）事業》

コロナ影響により医療向けX線遮蔽用鉛板やプラントの設備防音用鉛シートが減販、更に住宅着工数の減少も加わり、売上高は前年同期比で11%の減収となりました。

以上のほか、環境分析部門を合わせた当事業部門の業績は、運輸部門が好調だったこともあり、前年同期並みとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、C B H社ラスプ鉱山の減損などで固定資産が25億円減少したものの、金属相場の上昇による売上債権の増加などもあり、前連結会計年度末に比べ35億29百万円増加し、1,208億62百万円となりました。

負債については、運転資金需要への対応により、有利子負債が増加し、前連結会計年度末に比べ48億93百万円増加し、859億17百万円となりました。

利益剰余金の増加により株主資本は増加したものの、純資産ベースでは、金属相場高により繰延ヘッジ損益が損失に転じたことなどもあり、前連結会計年度末に比べ13億63百万円減少し、349億45百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は28.9%となり、前連結会計年度末に比して、2.0ポイント下落しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年10月23日公表の予想から修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,207	11,975
受取手形及び売掛金	10,655	14,608
電子記録債権	231	781
商品及び製品	9,157	8,212
仕掛品	9,841	13,024
原材料及び貯蔵品	16,006	13,510
その他	5,201	3,240
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	59,301	65,352
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,147	6,720
機械装置及び運搬具（純額）	13,306	12,441
土地	17,175	16,604
その他（純額）	1,407	1,321
有形固定資産合計	39,038	37,087
無形固定資産		
鉱業権	10,957	10,404
その他	57	53
無形固定資産合計	11,014	10,457
投資その他の資産		
投資有価証券	4,943	4,734
その他	3,922	4,118
貸倒引当金	△887	△887
投資その他の資産合計	7,978	7,964
固定資産合計	58,031	55,509
資産合計	117,333	120,862

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,890	7,573
短期借入金	24,101	27,823
1年内返済予定の長期借入金	7,848	4,164
コマーシャル・ペーパー	4,000	9,000
未払法人税等	172	345
引当金	232	225
その他	7,444	7,045
流動負債合計	50,690	56,178
固定負債		
長期借入金	20,486	20,198
引当金	653	643
退職給付に係る負債	206	203
資産除去債務	3,726	3,676
再評価に係る繰延税金負債	4,345	4,173
その他	916	842
固定負債合計	30,334	29,739
負債合計	81,024	85,917
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,630	14,630
資本剰余金	9,876	9,876
利益剰余金	1,648	3,191
自己株式	△30	△30
株主資本合計	26,125	27,667
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	207	289
繰延ヘッジ損益	1,036	△937
土地再評価差額金	8,997	8,608
為替換算調整勘定	58	△578
退職給付に係る調整累計額	△116	△104
その他の包括利益累計額合計	10,183	7,277
純資産合計	36,309	34,945
負債純資産合計	117,333	120,862

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	74,747	73,855
売上原価	75,324	65,172
売上総利益又は売上総損失(△)	△577	8,683
販売費及び一般管理費	6,254	5,642
営業利益又は営業損失(△)	△6,831	3,040
営業外収益		
受取利息	13	34
受取配当金	79	57
為替差益	—	454
受取保険金	426	—
その他	554	463
営業外収益合計	1,074	1,010
営業外費用		
支払利息	329	395
持分法による投資損失	—	0
為替差損	38	—
その他	157	238
営業外費用合計	524	633
経常利益又は経常損失(△)	△6,282	3,417
特別利益		
固定資産売却益	35	475
投資有価証券売却益	11	281
特別利益合計	47	756
特別損失		
減損損失	2,900	1,473
固定資産除却損	181	108
その他	8	—
特別損失合計	3,090	1,582
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△9,325	2,592
法人税、住民税及び事業税	99	345
法人税等調整額	1,551	1,093
法人税等合計	1,650	1,438
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10,976	1,153
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,976	1,153

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△10,976	1,153
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63	81
繰延ヘッジ損益	△772	△1,974
為替換算調整勘定	△1,155	△636
退職給付に係る調整額	△12	12
その他の包括利益合計	△2,003	△2,516
四半期包括利益	△12,979	△1,363
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,979	△1,363
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

(非鉄スラグ製品の処理に係る偶発債務)

当社安中製錬所が過去に出荷した非鉄スラグ製品の一部において、土壌汚染対策法の土壌環境基準を超過した製品があること、ならびに、当社の管理不足により不適切な使用・混入がなされた可能性のあることが、調査の結果判明いたしました。今後も、当該製品を回収、撤去するための費用負担が発生する可能性があります。現時点では四半期連結財務諸表に与える影響額を合理的に見積もることは困難であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結 損益 計算書 計上額 (注) 3
	製錬	資源	電子部材	環境・リ サイクル	土木・建 築・プラ ントエン 지니어リ ング	計				
売上高										
外部顧客への売上高	55,745	8,364	3,799	3,206	1,506	72,621	2,125	74,747	—	74,747
セグメント間の内部 売上高又は振替高	244	1,802	0	—	210	2,257	3,043	5,301	△5,301	—
計	55,989	10,166	3,800	3,206	1,716	74,879	5,169	80,048	△5,301	74,747
セグメント利益又は 損失(△)	△5,933	△2,119	353	653	51	△6,994	374	△6,620	△211	△6,831

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防音建材、運輸、環境分析等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△211百万円には、セグメント間取引消去△3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△207百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

「資源」セグメントにおいて、鉱山の生産計画の見直しにより、今後は投下資本に見合うだけの十分なキャッシュ・フローの回収が見込めないと判断し、資源事業(エンデバー鉱山及びラスプ鉱山)に係る資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。また、同セグメントにおいて、探査活動が終了した案件についてその探査権の帳簿価額の全額を減損損失として計上しております。当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においてエンデバー鉱山が946百万円、ラスプ鉱山が1,908百万円、探査権が45百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結 損益 計算書 計上額 (注) 3
	製錬	資源	電子部材	環境・リ サイクル	土木・建 築・プラ ントエン 지니어リ ング	計				
売上高										
外部顧客への売上高	59,696	5,391	3,013	2,539	1,129	71,770	2,085	73,855	—	73,855
セグメント間の内部 売上高又は振替高	445	1,144	—	0	117	1,706	3,334	5,041	△5,041	—
計	60,142	6,535	3,013	2,539	1,246	73,477	5,419	78,896	△5,041	73,855
セグメント利益又は 損失(△)	3,771	△1,809	189	592	117	2,860	409	3,269	△228	3,040

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防音建材、運輸、環境分析等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△228百万円には、セグメント間取引消去35百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△264百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

「資源」セグメントにおいて、使用価値の算定に用いられる市況前提(主に為替相場)を市況の変化に対応して見直した結果、今後は投下資本に見合うだけの十分なキャッシュ・フローの回収が見込めないと判断し、資源事業(エンデバー鉱山及びラスプ鉱山)に係る資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しております。当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においてエンデバー鉱山が5百万円、ラスプ鉱山が1,468百万円であります。

3. その他

連結売上高明細表

品名	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
亜鉛製品	21,403	28.6	18,791	25.5	28,061	28.8
鉛製品	17,025	22.8	15,311	20.7	22,974	23.6
電気銀	13,634	18.2	19,618	26.6	17,652	18.1
硫酸	1,245	1.6	1,064	1.4	1,599	1.6
鉱石販売等	8,364	11.2	5,391	7.3	9,647	9.9
電子部品	1,344	1.8	1,210	1.6	1,724	1.8
電子材料等	2,455	3.3	1,802	2.5	3,204	3.3
環境・リサイクル製品	3,201	4.3	2,538	3.4	4,176	4.3
防音建材	1,124	1.5	1,005	1.4	1,478	1.5
完成工事高	1,546	2.1	1,116	1.5	2,201	2.3
その他	3,401	4.6	6,005	8.1	4,723	4.8
合計	74,747	100.0	73,855	100.0	97,445	100.0